

自己評価報告書

平成 23年 4月 21日現在

機関番号：32612

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2012

課題番号：20520256

研究課題名（和文） 十六世紀イギリスの大学演劇文化とその商業演劇的展開に関する研究

研究課題名（英文） University Literary Culture and Its Influence upon the Professional Stage in Sixteenth-Century London

研究代表者

井出 新（IDE ARATA）

慶應義塾大学・文学部・教授

研究者番号：30193460

研究分野：英文学

科研費の分科・細目：ヨーロッパ語系文学

キーワード：英米文学・文学一般・西洋史

1. 研究計画の概要

この研究は16世紀イングランドのケンブリッジ大学及びオクスフォード大学における学生演劇の文化史的、演劇史的意義を一次史料に基づいて再構築するものであるが、今年度は以下の研究計画に基づいて行った。

(1) 文学作品の分析：Gabriel Harvey を揶揄したと思われる劇 *Pedantius* はケンブリッジ大学で1580年代に上演された劇だが、その劇に関する分析と、それがロンドンの文化へとどう接ぎ木されていたかということに関する分析。特にロンドンにおいて Edmund Spenser と騎士道ロマンスがどんな文化的役割を果たしたかを考察する研究計画だった。

(2) 学寮及び地方都市の人脈に関する一次史料の調査を行うこと。とりわけ Cambridge University Archive の裁判記録を引き続き調査し、John Fletcher に関する新史料を発見して論文にまとめる。

(3) 地方及びロンドンにおける文化的環境に関する調査。それによって対象となる文学作品のコンテキストを探る。

2. 研究の進捗状況

上記(1)については *Pedantius* と同時に、Richard Robinson の *Assertio inelytissimi Arturii regis Britanniae* (1582) について分析し、予定通りに進捗している。その成果を International Shakespeare Conference、日本シェイクスピア学会、日本中世英語文学会の全国大会において発表を行った。(2)については Fletcher に関する従来の定説を覆す史料であること、また学寮と都市の関係を探るためにも第一級の貴重な史料であることが判明し、その研究結果を纏めて *Early Theatre* に発表した。また地方史に関する二

時史料の調査も順調に行っているが、調査の結果、ロンドンにおける Privy Council の役割が大きいことが判明しつつあり、今後はそのメンバーと文人たちとの関係について調査を展開することになる。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。比較的順調に様々な史料が見つかることと、研究対象が具体的に絞られてきたこともあって、達成度としては予定通りであると言える。

4. 今後の研究の推進方策

2. の(3)においても記したが、調査の結果 Privy Council の果たした重要な役割に光が当たりつつあり、今後はロンドンで活躍していた Marlowe, Watson, Spenser, Lyly という大学才人たちのロンドンにおける活動と枢密院との関連についても考察を続け、ロンドンにおける商業演劇的展開において枢密院メンバーが果たした役割についても考察を加えていくことになるだろう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

Arata Ide, "John Fletcher of Corpus Christi College: New Records of His Early Years," *Early Theatre: A Journal Associated with the Records of Early English Drama* 13.2 (2010), 63-77.

Arata Ide, "Chivalric Revival and the

London Public Playhouse in the 1580s,”
Studies in English Literature 52 (2010),
1-15.

〔学会発表〕(計3件)

井出新 「ロンドン市民社会における国家意識の誕生 ―リチャード・ロビンソン『アーサー王事績肯定論』(1582)を中心に」 日本中世英語英文学会第26回全国大会 2010.12.5 (大阪学院大学)

井出新 「大学演劇と学寮社会 *Pedantius* 上演(1581)を中心に」 日本シェイクスピア協会第49回学会 2010.10.16 (福岡女学院大学)

Arata Ide, “Chivalric Revival and the London Public Playhouse” International Shakespeare Conference. 2010.8.10 (Stratford-upon-Avon, UK)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕